

| | | | |
|--------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 後期 | 2学年 | 1単位 | 必修 |
| 担当教員 | | | |
| ◎立瀬剛志 | | | |
| 添付ファイル | | | |

| | | |
|--|--------------------------|-----------------------------------|
| 授業種類 | 【開講】 後期 | 【授業時間】 15時間 |
| | 【担当教員】 【氏名】 ◎立瀬 剛志 | 【研究室】 富山大学 実務経験のある教員が担当します。 |
| 【本学の科目区分】 専門基礎科目 | | |
| 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程、保健師課程 | | |
| 【DP 1】 【DP 2】 【DP 3】 【DP 4】 【DP 5】 【DP 6】 【DP 7】 | | |

| | | |
|------|--|--|
| 到達目標 | 1. 疫学の概念とその必要性を理解する。 2. 疫学が疾病予防や健康増進活動にどのように寄与しているかを理解する。 | |
| 授業概要 | 人間集団の中でおこる健康に関する現象の頻度や分布を把握し、疾病予防と健康増進に関する疫学の基本的な知識、考え方について学ぶ。疫学で使用する指標を理解し、どのような現象にどのような疫学的分析が有効かを学ぶ。 | |
| 授業計画 | 1 | 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：疫学総論 学習内容：疫学の定義、疫学研究の歴史、地域看護における疫学の意義 備考：立瀬 |
| | 2 | 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：疫学の基礎① 学習内容：疾病・健康事象、曝露と疾病の関係、因果関係の判定、疫学研究の倫理 備考：立瀬 |
| | 3 | 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：疫学の基礎② 学習内容：疫学研究のデザインと利点・欠点、エビデンスレベル・生命表 備考：立瀬 |
| | 4 | 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：疫学の基礎③ 学習内容：健康指標の基礎資料(疾病頻度・有病と罹患、死亡) 備考：立瀬 |
| | 5 | 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：疫学の基礎④ 学習内容：バイアス、交絡要因、スクリーニング |
| | 6 | 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：疫学の応用① 学習内容：健康政策学、実施疫学 備考：立瀬 |
| | 7 | 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：疫学の応用② 学習内容：社会疫学、EBM/EBN 備考：立瀬 |
| | 8 | 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：まとめ 学習内容：1-7回目までの確認および解説 |

| | |
|-----------------|--|
| | 備考：立瀬 |
| 事前・事後学習 | 事前学習：あらかじめ該当箇所について周知するので、事前に教科書または資料を確認する。（20分） 事後学習：講義後に教科書と資料を見直すこと。（20分） また、同時に開講されている保健統計演習は関連科目であり必要な知識であることに留意すること。 |
| 評価方法、評価基準 | 本試験（100%） |
| 必携図書 | ・基本からわかる看護疫学入門、医歯薬出版。 |
| 参考図書・資料等 | ・はじめて学ぶやさしい疫学、日本疫学会標準テキスト、日本疫学会 ・楽しい疫学 医学書院 ・社会的健康決定要因～健康政策の新潮流、日本公衆衛生協会 |
| 受講、課題、資料配布等のルール | 資料は講義の際に適宜配付する。 |
| 教員からのメッセージ | 疫学は、人間集団を対象としてより多くの人に合う解決方法を提案する実践の学問であり、「根拠にもとづく医療・看護（EBM/EBN）」の根拠として重要な科目です。そして医療や公衆衛生の基盤となり、近年ではあらゆる分野に活用されてきています。特に公衆衛生分野では、集団の健康上の問題点を明らかにして、有効な疾病予防と健康増進施策を講じる主要な方法論として使われています。「疫学Ⅰ」では、初めて疫学を学ぶ人にもわかりやすい解説に努めます。 |
| オフィスアワー | — |